

工商管理外语阅读教程系列丛书

Business Administration Foreign Languages Series

总策划 李桂山

物流管理 日语阅读

Logistics

Management

Selective Readings

编著 何家蓉
曹昱亮
主审 光永胜郎

北京航空航天大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

物流管理日语阅读/何家蓉编著. —北京:北京航空航天大学出版社,2005.9

ISBN 7-81077-573-1

I. 物… II. 何… III. 物流—物资管理—日语—
阅读教学—自学参考资料 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 102387 号

物流管理日语阅读
编著 何家蓉 曹昱亮
主审 光永胜郎

*

北京航空航天大学出版社出版发行

北京市海淀区学院路 37 号(100083) 发行部电话:010-82317024

<http://www.buaapress.com.cn> E-mail:bhpress@263.net

北京市松源印刷有限公司印装 各地书店经销

*

开本:787×960 1/16 印张:16 字数:294 千字

2005 年 9 月第 1 版 2005 年 9 月第 1 次印刷 印数:3 000 册

ISBN 7-81077-573-1 定价:20.00 元

序 文

《工商管理外语阅读教程系列丛书》是天津理工大学国际工商学院的教师们在经过中外合作办学的教学实践和经验总结后编写出的一套外语阅读教材。

本套丛书所选的国外原版阅读文章,涵盖了工商管理专业核心课程的重要领域,反映了当前许多国外工商管理学科最前沿的知识信息。专业语言的语料具有原汁原味的真实性,它能使学生所获取的专业英语技能在将来的工作中具有实用性。借助本套丛书,读者们能够跟踪了解工商管理科学发展的最新动态。

本套丛书中的每一本都给出了该专业学生应掌握的核心理论知识。为使学生们所学的专业领域中的语言知识得到应用、巩固、扩展和提高,课文后均配有大量的练习。

《工商管理外语阅读教程系列丛书》包括:1) 市场营销英语阅读;2) 财务会计英语阅读;3) 国际商务文化英语选读;4) 管理信息系统英语阅读;5) 战略管理英语阅读;6) 国际商法英语阅读;7) 人力资源管理英语阅读;8) 组织行为学英语阅读;9) 物流管理日语阅读。

本套丛书可作为工商管理专业学生的专业英语阅读教材。对于那些接受短期培训的企业管理者、MBA 学员和教师来说,这套丛书将会更有参考价值。我们希望这套丛书的出版,能进一步促进工商管理专业教学的推广和普及。

我们在此要感谢许多人,他们在本套丛书的编写过程中给予了我们极大的鼓舞和帮助。

我们要感谢加拿大开瑞博大学(the University of the Cariboo)商学院院长布洛克·戴克曼博士(Dr. Brock Dykeman)给予的支持和帮助。

我们要感谢大阪产业大学(Osaka Sangyo University)经营学部流通学科的教授和老师们的支持和帮助。

我们要感谢 Ms. Connie Chen 抽出自己的空闲时间来阅读这套书,并提出了宝贵的意见和有益的建议。我们非常欣赏她的耐心和乐于助人的精神。

我们还要感谢工商管理学科的同人们给予我们的热情指导和帮助,他们是李健教授、张忠明教授、魏津瑜博士等。

天津理工大学国际工商学院

2004 年 2 月

第5章 ロジスティクスの展開

必要な時間です。このほかにも、段取り替えや作業者・設備の準備待ちの時間も発生しますし、前後の作業タイミングがずれることによる待ち時間も発生します。たとえば、ピッキングや仕分けが完了しているのに、配送車両が出荷エリアで渋滞し、商品が滞留する時間などです。

ロジスティクス・マネジメントにおけるリードタイムの短縮は、以上のリードタイムの総体を短縮し、資材調達から生産、販売、物流の全体プロセスを通過する在庫(製品)の通過速度を速めることが重要です。そのためには、前述の三つのリードタイムを短縮し、ロジスティクスの業務プロセス全体がスピーディーでムダのない工程になるよう、常に改革と改善を進める必要があります。

I. 単語

1	コンカレントエンジニアリング		并行工程(concurrent engineering)
2	モデルチェンジ		产品变化, 型号改变(model change)
3	ED		电子数据(electronic data)
4	web-ED		网络电子数据(web electronic data)
5	スピーディー		敏捷、快速(speedy)
6	プロジェクト		课题、计划(project)
7	頻繁	ひんばん	频繁、屡次
8	伝達	でんたつ	传达、转达
9	段取り	だんどり	程序、顺序
10	タイミング		时机(timing)

II. 文法表現

1. コンカレントエンジニアリング concurrent engineering 開発過程においてさまざまな開発段階を同時並行的に行う開発手法。開発期間が短縮されたり、各部門の意思疎通が容易になるなどの利点をもつ。/并行工程。在开发过程中，各种各样的开发阶段同时进行的开发手法。具有，各部门间容易疏通等优点。
2. モデルチェンジ model change 自動車、電気器具などの性能を向上させたりデザインを変えたりすること。衣服の型、設備などを変えることにも言う。型式変更。/产品变化，型号改变。为使汽车、电器等的性能被提高，而改变设计。

III. 慣用表現

1. 競争力を高める：提高竞争力。
2. 連携を図る：计划联合。
3. 改善を進める：推进改善。

IV. 練習問題

一、下線部に適当な言葉を入れなさい。

1. ロジスティクス・マネジメントの目標の一つは、 _____
実現化することです。
2. ロジスティクスにおけるリードタイムには、 _____、 _____、 _____
という三つがあります。

二、次の質問に答えてください。

1. コンカレントエンジニアリングとは
2. モデルチェンジとは

三、次の言葉から最も適当なものをひとつ選び本文に適切に接続するように空欄を埋めなさい。

競争力を高める 連携を図る
改善を進める

1. 後は地域医療機関のみならず保健・福祉関連機関とも積極的に（ ）ように努力してまいります。
2. 資源小国である日本が（ ）には、技術を磨くことが、何よりも重要である。
3. 今後とも、生き残りをかけてシステムの（ ）方針にかわりはありません。

四、文を要約しなさい。

読解

アジアの物流事情

アジアは、国によって物流事情は大きく異なります。中国は最近安い労働力を生かした製造拠点というだけでなく、巨大な市場として注目されています。しかし、道路網、鉄道網など輸送インフラは主に沿海部にしか整備されておらず、この地域では人件費が上昇しています。これに対し、内陸部は、人件費は安いのですが、物流のアクセスが悪いのが問題です。どちらも物流サービスの質は悪く、輸送手段の手配は困難で、頼んでから届くまでのリードタイムは不確定です。

韓国、シンガポールはアジアのハブ港をめざし、国が力を入れて、港湾や空港の物流インフラを整備しています。貨物量が増えるにしたがってコストも上昇しているので、それをカバーするために情報システムの整備にも力を入れています。

日系現地法人の場合、多くは、輸送はトラックが中心ですが、路線便、定期便などのサービスは、いまのところありません。

中国語訳

亚洲物流概况

亚洲因国家不同物流情况有很大差异。最近中国不仅利用廉价劳动力建立了制造点，而且作为巨大的市场引人注目。但是，公路网、铁路网等基础设施主要集中在沿海城市，该地区的人工费不断上涨。与此相反，内陆地区劳动力便宜，但问题是物流的通道不好。物流服务质量哪儿都不高，运输手段安排困难，委托后货物按时到达之前的起始时间不确定。

韩国、新加坡以建成亚洲的中枢港口为目标，国家投入力量完善码头、机场的物流的基本设施。随着货物量的增加，成本也在上扬，为了弥补这一缺陷正在投入力量完善信息系统。

多数当地的日裔法人以卡车运输为主要形式，目前还没有定线（固定的运输线路）、定期（固定的时间）的运输服务。

豆知識

イトーヨーカ堂の物流

セブン・イレブンも系列企業の一つであるイトーヨーカ堂は優れた物流システムを有している。同社は徹底的な物流コストダウンを目標に「カテゴリー別の配送・納品」や過剰在庫・不良在庫を効率的に回避する「無在庫オペレーション」を導入し、これが他社にはないイトーヨーカ堂流の物流システムとして際だった特徴となっている。

5. 3PL(サードパーティ・ロジスティクス)

包括的にアウトソーシング

3PL(サードパーティ・ロジスティクス)とは、商品の売り手でも、買い手でもない第三者が物流を総合的にサポートすることです。アメリカ生まれの新しいビジネスで、日本でも注目されてきました。

1996年に閣議決定された「経済構造の変革と創造のためのプログラム」では、3PLを『荷主に対して物流改革を提案し、包括して物流業務を受託する業務』と定義しています。物流を3PL事業者に出注(外部委託)することによって、スピードアップやコストダウンが図れます。また、企業はコアコンピタンス(中核となる事業)に専念できるというメリットもあります。3PLは今後、物流アウトソーシングの主要なビジネスとなるでしょう。

3PLが従来の外部委託と大きく異なる点は、業務が輸送や保管などの作業を請け負うだけでなく、荷役や流通加工、在庫管理、サービスレベルの向上、コストダウンといった本来は自社で行っていた物流機能全般を担当するところです。

これにはもちろん、情報システムの受託も含まれています。荷主企業のニーズに対してもっとも適した物流システムを提案し、それを構築、実行していくという点が、3PLの大きな特徴です。

3PL事業者には2タイプある

3PLは一般に、アセット型とノンアセット型に分類されます。

アセット型は、すでに倉庫や運送手段、物流拠点となる場所などのアセット(資産)を持っている3PL事業者を指します。

一方ノンアセット型は自社でアセットを持たず、輸送業者や倉庫業者などと提携して荷主のニーズに的確に応えられるシステムをコーディネートする業務を主体としています。利用運送事業者ともいいます。

現在アメリカの主流はアセット系3PLです。しかし「自社資産の活用を考えながら構築するシステムが荷主にとって最適なのか」という疑問の声もあり、自社資産にとらわれないノ

ンアセット系の人気も高まってきました。

日本では大手トラック運送業者をはじめ、物流子会社、大手商社などの 3PL 事業展開が注目されています。しかし、業者のなかには従来の下請け的な発想から抜けきれず、言葉だけの物流アウトソーシング、3PL 事業者というところもあるようです。

今後、3PL 事業者に期待されることは、荷主のニーズに応えるだけにとどまらず、物流サービスの向上や新しい物流システムを提案する能力を持つことでしょう。荷主の物流部門を完全に外注化できてこそ、真の 3PL なのです。

I. 単語

1	アウトソーシング		外部采办, 外购, 资源外化 (outsourcing)
2	コアコンピタンス		核心竞争力 (core competence)
3	アセット型		资产型 (asset tyoe)
4	ノンアセット型		非资产型 (no asset type)
5	コーディネート		调整, 整理 (coordinate)
6	サポートする		支持, 支援, 拥护 (support)
7	閣議	かくぎ	内阁会议

II. 専門用語

アウトソーシング outsourcing 社外から生産に必要な部品、製品を調達したり、業務の一部を一括して他企業に請け負わせる経営手法。/外部采办, 外购, 资源外化。

III. 練習問題

一、下線部に適当な言葉を入れなさい。

1. 3PL が従来の外部委託と大きく異なる点は、業務が____や____などの作業を請け負

うだけでなく、____や____、____、____、____といった本来は自社で行っていた____を担当するところです。

2. アセット型は、____や____、____となる場所などのアセットを持っている____を指します。ノンアセット型は自社で____を持たず、____や____などと連携して、荷主のニーズに応えられる____を____を主体としています。

二、次の質問に答えてください。

1. 3PL とは
2. 3PL の働き

三、文を要約しなさい。

読解

3PL の行方

バブルが崩壊したころから、「3PL」という言葉が登場してきました。「サードパーティロジスティクス」を日本的に略して3PLと呼んでいます。

もともと、サードパーティというのは「第3の当事者」という意味合いの、荷主企業、運輸業に次ぐ第三番目としてのフォワーダー（取扱業者）のことです。つまり、荷主企業と運輸業の間に入って両者の仲介をするものですが、これに、ロジスティクスという言葉をつけ加えることによって「自ら物流システムを開発し、コンサルティング力を伴って企業に対して物流サービスを包括的に提供する業態」というような意味を持たせたようです。

この3PLという業態が欧米で力をもってきていることから、日本では商社、情報企業、コンサルティング企業、そして運輸業などが興味を示し始め、新しいビジネスモデルとして、多くの企業が乗り出そうとしたのです。

運輸企業だけでなく、コンサルティング企業が目をつけたのは、3PLには「アセット型」と「ノンアセット型」があるといわれたからです。アセットというのは施設や機関のことで、

アセット型というのは、自ら倉庫や運輸機関を保有しているものです。ノンアセット型は、倉庫や運送機関は他のものに委託するということです。ですから、自らは施設・機関を持たない企業でも 3PL に乗り出せると考得たのでしょう。

そのため、一時、3PL はブームとはなりました。貨物量が減り、運賃低下に悩む運輸業、特にトラック業には救世主のように思われたのでしょう。しかし、それから数年が経って、3PL という言葉はまだ残ってはいるものの、あまり口にする人はいなくなりました。どうしてでしょうか。単に言葉だけが先走ったからでしょうか。

実は、3PL というものがいったいどういうものなのか、具体的にならなかったためです。それと、よく考えてみると、自ら物流システムを開発し、コンサルティング業務を行なって大きな付加価値を獲得するなど、そう簡単にできるものではないということに気がついたからでしょう。

運輸業のなかには、「これまでの包括委託や総合物流とどう違うのか」という声も出ています。運輸業以外では「物流現場のことはわからない」という人もいます。実は欧米で 3PL が力をもっているのは、フォワーダーという業種が物流において大きな位置を占めているからであるのに、日本ではそれが無い、という人もいます。

中国語訳

3PL 的走向

泡沫经济崩溃以后，“3PL”这个词语开始登场。3PL 在日语中是“サードパーティ・ロジスティクス (third party logistics 第三方物流)”的略语。

原来，所谓“サードパーティ”（第三方）就是“第三当事人”沿革的、继货主企业、运输企业之后第三位的货运代理业者。就是说，它是介于货主企业和运输企业两者之间进行斡旋的一种组织形式，而且由于添加了物流这个词而使它具有了“自行开发物流系统、带有咨询功能、对企业能综合性地提供物流服务的业种”这样的意义。

由于 3PL 这一业种在欧美国家开展的生机勃勃，在日本的商社、信息企业、咨询服务业、

运输企业等对此开始表示出了极大的兴趣,作为新兴的商务模式很多企业正要着手引进该机制的运作模式。

不仅运输企业,咨询服务业也受到关注,据说是因为3PL有“资产型”和“非资产型”两种形式。所谓资产指的是设备、机构。所谓资产型指的是自己拥有仓库、运输机构。非资产型指的是把仓库、运输机构委托给其他公司。所以,即使自己不具备设备、机构的企业也希望能够推出3PL。

为此,一时,3PL有了急剧发展。为货物量减少、运费降低而苦恼的运输业、特别是卡车行业感觉就像发现了救世主。但是,几年过去以后,虽然3PL这个词语还存在,但是提起它的人已几乎没有了。为什么呢?因为当时只是语言先流行了一段时间。

其实,是由于3PL究竟是什么样的模式并没有具体化的缘故。认真思考一下的话,可以感觉到:自己开发物流系统,提供咨询服务业务以获取大的附加值等不是一件简单的事。

在运输业也出现了“第三方物流与过去的全部委托、综合物流等有什么不同?”的声音。在运输业以外也有人说“不明白物流现场是怎么回事?”。也有人说:实际上,在欧美国家,3PL开展的生气勃勃是因为代理业在物流行业中占有相当大的市场,而日本不是这样。

豆知識

4PL

輸送手段や物流拠点などの資産を持たずに、他社の設備や技術、能力をコーディネートする業務を主体とするノンアセット型事業者や、情報システムを重視した業務形態を行う総合物流受託業者を、とくに4PLと呼ぶ場合もあります。大手コンサルティング会社のアクセントでは「4PL事業者はサプライチェーンのインテグレーターであり、その事業者自身の保有する各種資源、設備能力、技術を組み合わせて管理することにより、包括的なサプライチェーン・ソリューションを提供するものである」と定義しています。

6. ロジスティクス・ネットワーク

ロジスティクスネットワークはどのようにつくったらよいのでしょうか。それは、主として二つの条件を満たさなければなりません。

第一は、受注から納品まで、許される時間内に、すべての業務を完了できる位置の拠点を設けなければならないということです。これは、顧客サービスに関する問題です。通常は一カ所の拠点から複数の顧客に対して納品をしますから、その計画的配送ルートが設定できる都合のよい場所に決められるでしょう。

ロジスティクスの観点で重要なことは、リードタイムと拠点配置の関係です。受注から納品までに許される時間である配送リードタイムが短かければ、より顧客の近くに多くの小規模な拠点を分散して多数配置しなければなりません。しかし、配送リードタイムが長ければ、拠点を集約することが可能で、広い配送エリアをカバーする比較的大規模な拠点が小数あればよいことになります。

また、許容される配送リードタイムが変わらなくても、高速の輸配送手段に変更すれば、多くの顧客にスピーディーに配送が可能で、広いエリアをカバーできますから、拠点は集約できます。さらに、拠点の稼働体制が機動的であったり、夜間のセンター運営が可能になったり、夜間配送ができれば同様にスピーディーに拠点集約できます。

第二に、在庫回転率の問題があります。一般に、在庫回転率は在庫を集約するほど向上、分散するほど低下します。したがって、在庫回転率を向上させてロジスティクスの生産性を向上させようとするれば、拠点はなるべく集約したほうがよいということになります。

以上の二つの観点から、ロジスティクス・ネットワークは構築されなければなりません。たとえば、デルコンピューターは、インターネットによる受注と航空機を利用した高速ロジスティクスを活用することで、アジア市場向けの生産はマレーシアのペナン島に集約してしまい、流通在庫は輸送中の在庫を除いて一切不要にしていきました。当然、流通在庫を保管しておく拠点もいらないのです。

ロジスティクス・ネットワークは、設定されたリードタイムのなかで、どのようなビジネ

第5章 ロジスティクスの展開

プロセスをつくり込めるのか、そして、在庫を含めた経営資源を極限まで有効活用するシンプルな構造をどうしたらつくれるのか、という問題になります。

そこでは、物流も生産も区別されることはありません。デルコンピューターの例を見てもわかるとおり、受注組立生産というビジネスモデルも、ロジスティクスネットワークの設計と密接な関係があると考えられます。

I. 単語

1	デルコンピューター		戴尔计算机 (DELL COMPUTER)
2	受注組立生産 (BTO)	じゅちゅうくみたてせいさん	定单生产模式 (Built To Order)
3	ペナン島	ペなんとう	檳城島 (马来西亚) 戴尔电脑在亚洲的集散地
4	完了	かんりょう	完毕、完结
5	カバー		覆盖 (cover)
6	シンプル		简单、单纯 (simple)

II. 専門用語

デルコンピューター (社名 Dell Computer Corporation) : 売上高 123 億 2700 万 ドル前年度比 59%増、純利益では前年度比 82% (1997 年度)。設立 1984 年 資本金 4,100 万ドル 海外拠点 世界 21 ヶ国に現地法人。本社所在地米国テキサス州会長兼最高経営責任者マイケル・デル 従業員数全世界 16000 人以上。世界で初めて PC のダイレクト販売を開始したデルコンピューターは、設立からわずか 10 年で世界有数の PC メーカーに育つ。企業ユーザに対する PC の直接販売を主力とし、キーワードは「世界のビジネスにダイレクト」。16 期連続で売上げ記録を更新し続ける。/戴尔计算机。

Ⅲ. 慣用表現

1. 条件を満たす：満足条件。
2. 都合のよい場所：情况的地点。

Ⅳ. 練習問題

一、下線部に適当な言葉を入れなさい。

1. ロジスティクス・ネットワークは_____の条件を満たさなければなりません。一つは_____ことで、もう一つは_____ことです。

二、次の質問に答えてください。

1. リードタイムと拠点配置の関係を述べなさい。
2. デルコンピュータの物流の特徴はなんでしょう。

三、次の言葉から最も適当なものをひとつ選び本文に適切に接続するように空欄を埋めなさい。

条件を満たす 都合のよい場所

1. e-Learning は自分の都合のよい時間に、() で、自分のペースやレベルに合わせて学習することができるのが大きな特長です。
2. 我が社が提案した () ご返事をいただいたからには、明日にでも契約をすませたいと思います。

四、文を要約しなさい。

読解

「兵站」として、IT 物流をとらえよ

物流の効率をたんにコストだけでとらえるのではなく、戦略的にとらえる必要がある時代になってきた。物流を戦略的にとらえる考え方として、ロジスティクスがある。

ロジスティクスは、軍事における兵站の語源からきている。兵站とは戦場にタイムリーに必要な物資を供給する後方支援である。

戦争の勝敗は、兵站の出来、不出来によって決まるといっても過言ではない。第二次世界大戦で、日本はフィリピンなどへの進出はしたものの、食料や武器の補給がなく、苦戦したといわれている。物資輸送船は米国軍に徹底的に攻撃され沈没していたから、兵站がまったく機能していなかったのである。兵站が機能しない戦争は、勝てるはずがない。

企業の経営活動も企業間競争であり、軍事と類似している。顧客の注文に応じてタイムリーに商品を提供しなければ、顧客満足を失い、中長期的に売上げを伸ばすことができない。同時に利益拡大のためには、ロジスティクスの効率性の向上も不可欠になるのである。

中国語訳

把 IT 物流看作“兵站”

不单单是通过成本，而且有必要从战略上捕捉物流效率的时代已经来到了。作为这一想法的体现就有了“后勤供应站”。

“后勤供应站”来自军事用语“兵站”。所谓兵站就是指为战场及时提供必需物资的后方支援。

战争的胜败取决于兵站是否发挥作用，这样说一点也不过分。据说在第二次世界大战中，日本出兵菲律宾等国家，但由于没有食品、武器弹药的补给，打得非常艰苦。因为物资运送船被美军彻底击沉，兵站没有完全发挥其作用。兵站不起作用的战争是不可能取胜的。

企业的经营活动也是企业之间的竞争，与军事类似。不能根据顾客的需求及时提供商品，就会失去顾客，不可能在中长期内增加销售额。同时，为了扩大利益，提高战略物流的效率也是必不可少的。

豆知識

ブロードバンド

高速大容量通信の方式をブロードバンドと呼ぶ。通常の電話回線や ISDN では通信速度が遅く、画像などの送信に時間がかかる。そこで高速大容量通信として、ADSL (asymmetrical digital subscriber line) 方式などが登場した。これを契機にブロードバンド時代が到来し、2001 年までに 100 万世帯が ADSL 方式の契約をすませている。